

コンサートレポート

アンサンブルポニー・かつしか

第11回ポップス名曲コンサート

アンサンブルポニー・かつしかは2024年10月5日(土)に葛飾柴又の寅さん記念館で第11回ポップス名曲コンサートを開催いたしました。そこは映画「男はつらいよ」の寅さんたちの人情にふれたくなつたらふらりと寄りたいたいの故郷です。

その館内の「光庭」会場で130席が満席となり午後1時30分よりスタートしました。

指揮者の五十嵐淳先生が寅さんスタイルで登場。恒例の「男はつらいよ」で始まりユーモアに富んだ丁寧な曲紹介で一気に盛り上がります。第1部に軽妙な曲で「ジュビター」は箏(立身)マリンバ(古川)の素晴らしい響きでした。第2部の「タイプライター」は皆さんの演奏に合わせて指先で鍵盤をたたいて文字を紙面に印字する機械をフルート(宗)が担当して演奏したのが大変上手でお客様は感動しましたと大好評でした。

客席との会場歌唱では「高校三年生」をアルトサクソ(山口)が高校制服を着てマイク使用で一緒に歌いましたことで会場が盛り上がりました。これからも地域の皆様に音楽を楽しんでいただくよう、益々精進いたします。



取手シニアアンサンブル

第4回定期演奏会を終えて

学生時代に体験したギターアンサンブル演奏。そこで感受した合奏の愉しさ、以来45年の空白を経て現在、取手SEでお世話様になり音色も迫力も多様な楽器群に埋もれぬようヨタヨタと早10年。漸つと自らのアンサンブルの素晴らしさや自身の立ち位置を実感出来たのが今回の定期発表会でした。

好感溢れる我が指揮者先生も時折語られる「音楽は心で奏でるもの」との奥深き名言や舞台演出に解きほぐされて数々のミスにもめげずに必死に打ち込めて、きつと団員の他の皆様も同様だったに違いない、と。

夢中な演奏が確と会場に届いた故の熱っぽい拍手と盛り上がりだったのだ、と自賛しつつこれを励みにまた頑張るゾウ!!!

取手SEギターパート 柿崎利雄



越谷シニアアンサンブル

越谷SEの発足記念コンサート

去る10月31日(木)越谷中央市民会館にて標記演奏会が催された。

越谷SEは去る6月4日より鴨井次郎先生のご指導のもとに練習を開始したが、最初は団員数が7名と少なく、この対策と近隣楽団との交歓を目指して、都内北区の滝野川SEと埼玉県内の川口SEに友情出演を依頼した。両団は私が過去在籍して親しい団員が多く、鴨井先生は滝野川もご指導されており、川口の中山喜雄先生とも旧知の間柄である。

演奏会は越谷、滝野川、川口の順で6〜7曲ずつ演奏され、最後に川口が演奏。越谷、滝野川と会場全員が歌で「もみじ」と「翼をください」を合唱奏で盛り上がった。出演者50名、お客様は150名。

終了後の打ち上げには30名が参加。全員の自己紹介で終わったが、全て予定通りに進行了。越谷の団員は今11名と増加傾向にあり団のムードもよいので、よい楽団になると確信している。

滝野川、川口の皆様、それから物心両面のご支援を下さった全シ連の宮崎副理事長ご夫妻、山口事務局長に厚く御礼申し上げます。

(越谷SE 岡村斉能)

